

令和7年7月真菌医学研究センター教員会議 議事録

1. 日 時 令和7年7月29日（火）13:30～14:20
2. 場 所 真菌医学研究センター 大会議室
3. 出席者 笹川センター長
米山、石和田、渡邊 各教授
西城、知花、高橋、矢口 各准教授
伊藤事務部長 計9名（定足数7名）
（欠席）後藤准教授、（陪席）原口特任准教授

会議に先立ち、研究担当の齋藤理事による「科研費獲得に向けての説明会」（20分）を実施した。

4. 前回議事要旨について

令和7年6月真菌医学研究センター教員会議議事要旨について確認された。

5. 審議事項

（1）特定雇用職員の採用について（審議資料1）

笹川センター長から資料1に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

（2）教員の海外渡航について（審議資料2）

高橋准教授から資料2に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

（3）外国人研究者の受入れについて（審議資料3）

高橋准教授から資料3に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

（4）その他

なし

6. 報告事項

（1）教育研究評議会（7月10日開催）について（報告資料1）

笹川センター長から報告資料1に基づき報告があった。

（2）危機管理委員会（7月10日開催）について（報告資料2）

笹川センター長から報告資料2に基づき報告があった。

（3）教授候補者の審査結果について（報告資料3）

笹川センター長から報告資料3に基づき、高橋准教授の10月1日付け教授昇任について説明があり、次いで、高橋准教授から挨拶があった。

(4) 千葉大学における什器調達の取扱いについて（報告資料4）

会計第二係小川主任から報告資料4に基づき報告があった。

(5) その他

○夏季の節電について

省エネリーダーの会計第二係田中係長から昨年度のエネルギー使用状況について報告があった。

昨年度は前年度比1%減を目標としていたが、電気とガスの使用量が増加し、目標を達成できなかった。主な原因としては、動物実験の設備で使われるGHP（ガスヒートポンプ）の使用量が大幅に増えたことが挙げられる。引き続き節電への協力をお願いしたい旨の説明があった。

○科研費B以上獲得に向けた戦略について

センター長から科研費B以上の獲得に関して見解が示された。

現状、当センターの主要な研究分野は「真菌」であるが、科研費Bを獲得している多くの研究者が細菌学会で論文発表を行っていることが確認されている。このことから、科研費の審査委員の専門性が限定的であり、細菌学会が審査に大きく影響している可能性がある。

この状況を踏まえ、今後、細菌学会への入会を推奨するとともに、よりインパクトのある論文を発表することで、科研費B以上の採択率の向上を目指していきたいと考えている。

7. 今後の予定

・次回教員会議 9月30日（火）13時30分～

・Monthly セミナー 9月30日（火）16時00分～17時00分

（慶応義塾大学理工学部生命情報学科 ケミカルバイオロジー研究室 荒井緑先生）